

# 聾学校地域支援だより

## ウィンタースポーツを楽しむときの注意点



ミラノ・コルティナオリンピック・パラリンピックが開催されています。ウィンタースポーツを目にする機会が増え、関心が高まっています。実際にスキーやスノーボードなど冬のスポーツを楽しんだり、学校でのスキー教室などで初めてウィンタースポーツを体験したりする子どもたちがたくさんいます。以下のことに注意して補聴器や人工内耳を装着しながら安心してウィンタースポーツを楽しみましょう。

### ○落下防止

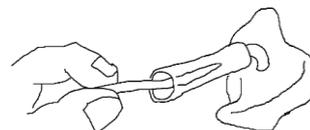
落下防止のためにストラップを使用しましょう。雪の中で落としてしまうと見つけることは非常に困難です。また帽子や上着を脱いだ時にも落とすことなく故障を防げます。



### ○防水・結露対策

帽子やフードをかぶったりして補聴機器を濡らさないように気をつけましょう。人工内耳の方はアクアプラスを使用するのもよいでしょう。汗をかいたり、雪で濡れたりしたときは早めにふき取りましょう。

冬は室温と室外の温度差、耳の体温と補聴機器の温度差により結露が起きてトラブルの原因になります。乾燥ケースや乾燥器にに入れて湿気をとりましょう。チューブに水滴が溜まったときはこよりをつかって取ることができます。



### ○電池のトラブル

冬は気温が低く、特に朝は電池も冷え切っていて電気をすぐに起こすことができないことがあります。空気電池に適切な気温は20℃で、5℃以下では寿命が短くなります。

- 新品の電池を入れても補聴器が作動しない。
- 朝起きて電源をいれても補聴器が作動しない。
- すぐに電池交換サインがでてしまう。

このような現象が起きたときは、電池を手の中で少し温めてから補聴器に入れてみましょう。



### ○配慮のお願い

スキー教室など学校での集団活動の時は指示をする先生に補聴援助システムをつけてもらいましょう。顔の表情がよく見えるように、また身振りを大きくつけて話をしてもらえるようお願いしましょう。

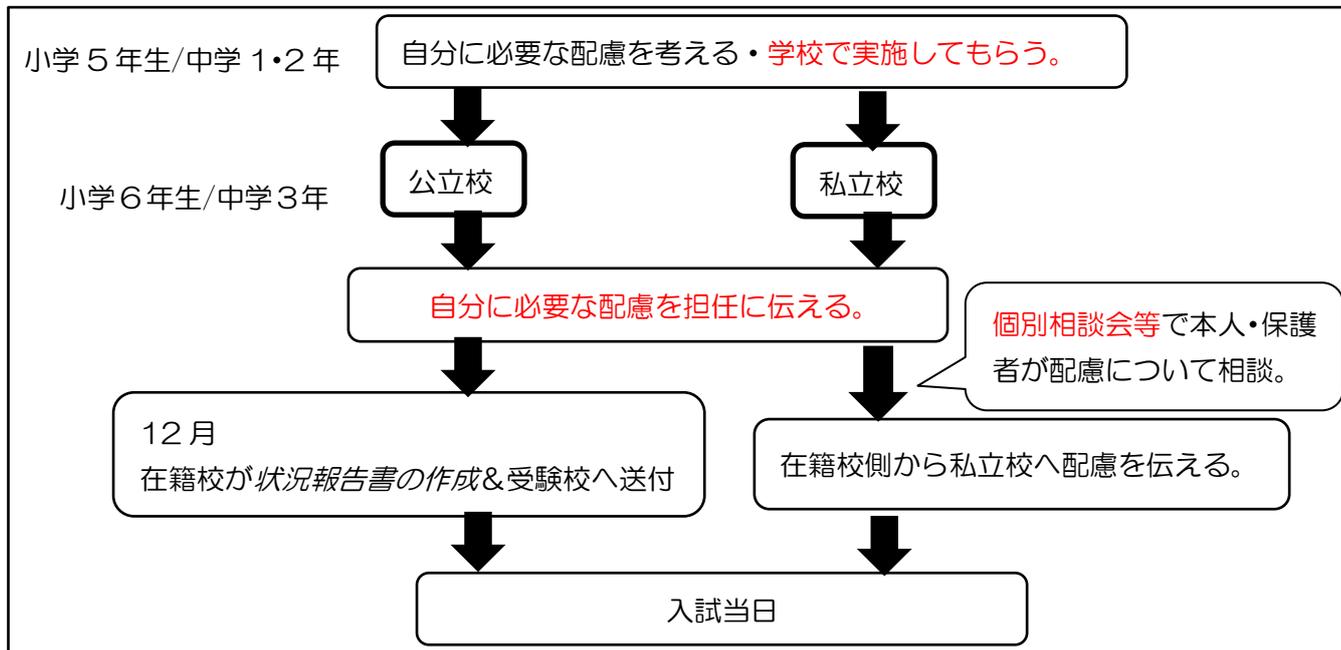




# 入試における合理的配慮について



2月になり、中学3年生にとっては高校入試の受験シーズンとなりました。必要な合理的配慮の申請をして、試験に臨んでいることと思います。早いようですが中学1・2年生も受験に向けてそろそろ準備を始めていきましょう。入試までの流れを紹介します。中学入試も同様の流れです。

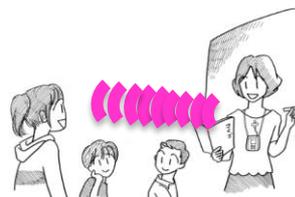


公立高校の場合は状況報告書で学校で行っている合理的配慮を受験校に伝えることができます！

「入試の時だけお願いしたい」はできませんので、日頃からよく考えて学校に伝えておきましょう。

## 補聴援助システムの活用

補聴援助システム（ロジャーやミニマイク等）を上手に活用しましょう。



補聴援助システムの使い方（ロジャー、ミニマイク、エデュマイク等）



①マイク（ ← の部分）に名札や服がこすれると雑音が入ってしまいます。

②聞く必要の無い時（机間巡視や休み時間等）は、ミュートボタン（ ○ の部分）を活用しましょう。

使用してもらうときはこの点をよく伝えておきましょう。